



城南進研グループ
Johnan Academy Group

平成28年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社 城南進学研究社 (4720)

2015年 12月 4日

代表取締役社長 下村 勝己



Johnan Academy Group

平成28年 3月期 第2四半期 決算報告

今期の見通しと今後の課題

第2四半期 業績ハイライト ① 経営成績

- 先行投資の影響で減益となるも、前年比増収を達成
- 売上はほぼ予算並、前年比は6.4%増

連結経営成績

(百万円)	予算比			前年比		
	予算	当2Q	予算比 増減率	前2Q	当2Q	前期比 増減率
売上高	3,413	3,380	-33 -0.97%	3,178	3,380	+202 +6.4%
営業利益	277	245	-32 -11.6%	316	245	-71 -22.6%
経常利益	302	271	-31 -10.3%	345	271	-74 -21.4%
当期純利益	206	188	-18 -8.7%	252	188	-64 -25.5%

第2四半期 業績ハイライト ② 財政状態

- 総資産 6,170百万円、純資産4,411百万円に
- 自己資本比率は 71.2% に

連結貸借対照表

(百万円)	前期末	当2Q	増減	比(%)
流動資産	2,432	2,401	-31	-1.3%
固定資産	3,797	3,768	-29	-0.76%
資産計	6,229	6,170	-59	-0.95%
流動負債	1,240	1,101	-139	-11.2%
固定負債	668	657	-11	-1.65%
負債計	1,909	1,759	-150	-7.9%
純資産	4,319	4,411	92	+2.13%
負債・純資産計	6,229	6,170	-59	-0.95%

第2四半期 業績ハイライト ③ キャッシュフロー

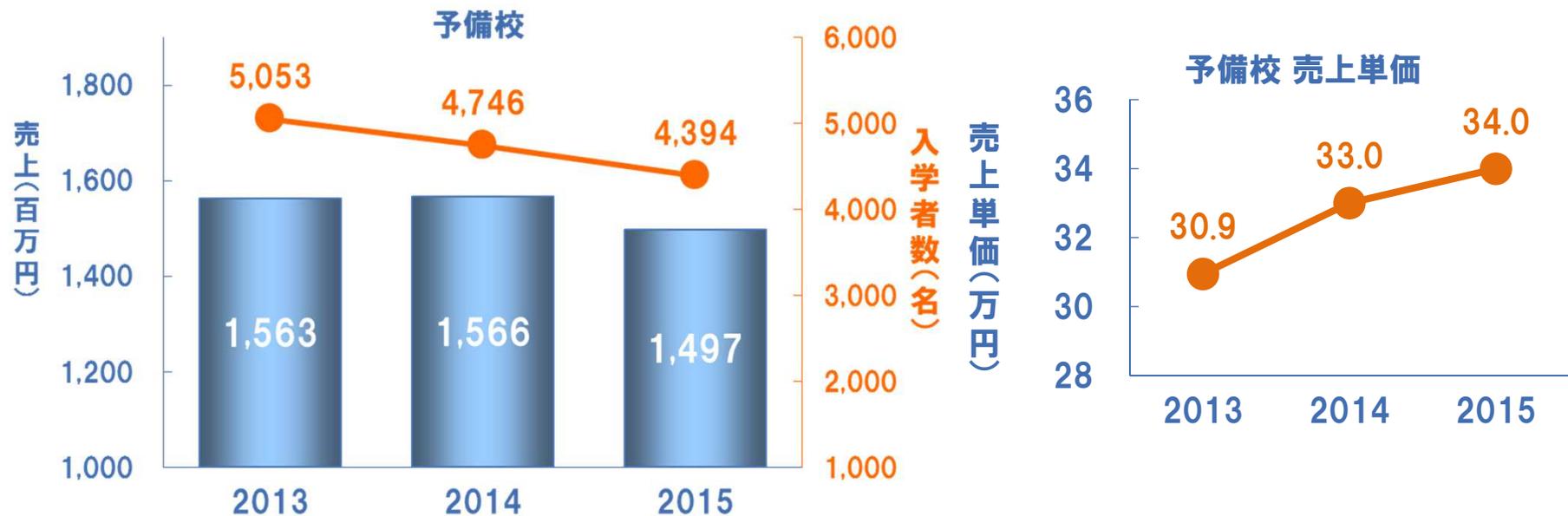
- 税金等調整前四半期純利益266百万円の計上などにより、営業活動によるキャッシュフローは130百万円の収入
- 配当金の支払い80百万円等により、財務活動キャッシュフローは86百万円の支出

連結キャッシュフロー

(百万円)	当2Q
営業活動 C F	130
投資活動 C F	△71
財務活動 C F	△86
現金及び現金同等物 四半期末残高	1,813

第2四半期 業績の分析 ① 予備校部門

- 大学受験市場の縮小により、生徒数は減少傾向
- 昨年に引き続き、演習授業「THE TANREN」・合宿などにより売上単価が増加
- 現役合格保証制度はさらに浸透（在籍率58.8%）



現役合格保証制度：

大学入試結果に満足せず、次年度も城南予備校において再挑戦する場合は、高卒部授業料を全額免除する制度

第2四半期 業績の分析 ② 個別直営部門

- 個別指導の需要の高まりと、新規教室の集客力向上により、生徒数・売上高ともに前年を上回る
- 小学生向け「ジュニアコース」など、小学生の集客力向上に注力（前年比21.2%増）、長期在籍顧客の獲得



成績保証制度：

期間内に所定の点数が達成できなかった場合は、保証期間終了後の翌期間（4ヶ月間）の対象科目の通常授業料を全額無料とする制度

第2四半期 業績の分析 ③ 個別FC部門

- FC教室は全210教室に、生徒数は前期比+21.0%に
- 開校業務サポートの強化により、新規教室の業績が改善

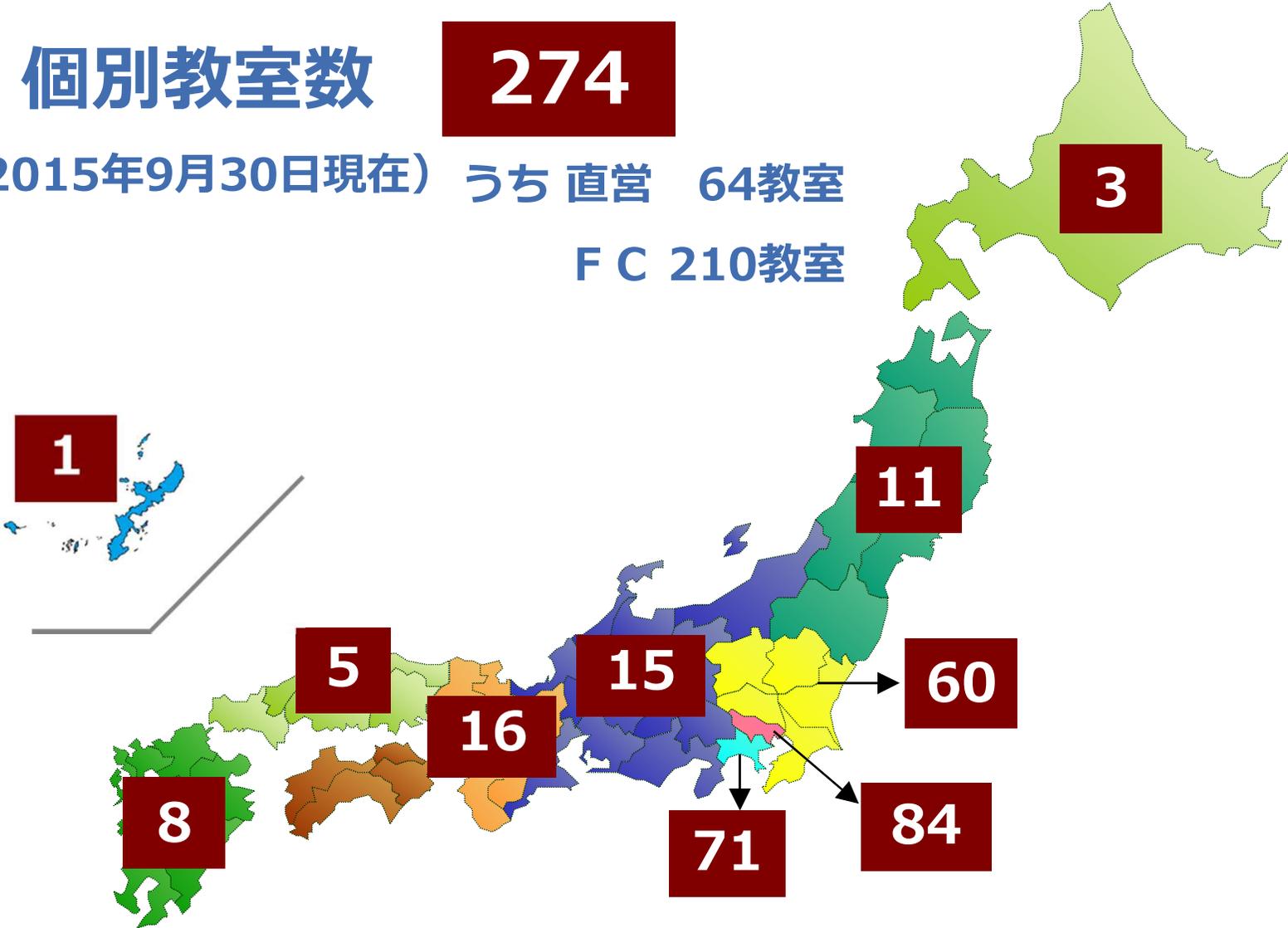


第2四半期 業績の分析 ④ 個別指導教室数

個別教室数

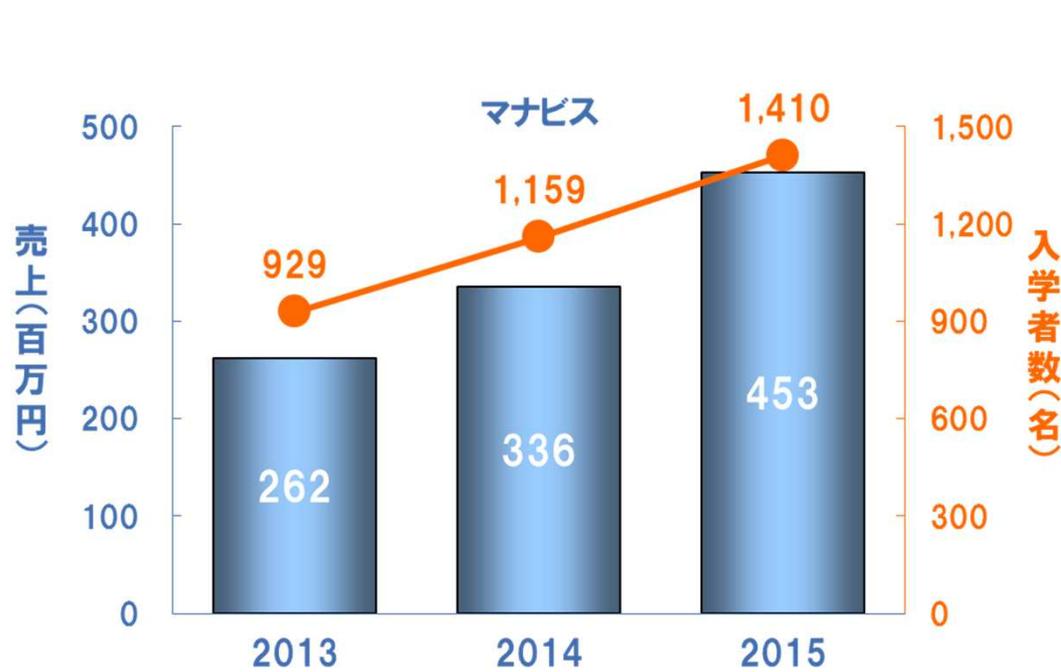
274

(2015年9月30日現在) うち 直営 64教室
F C 210教室

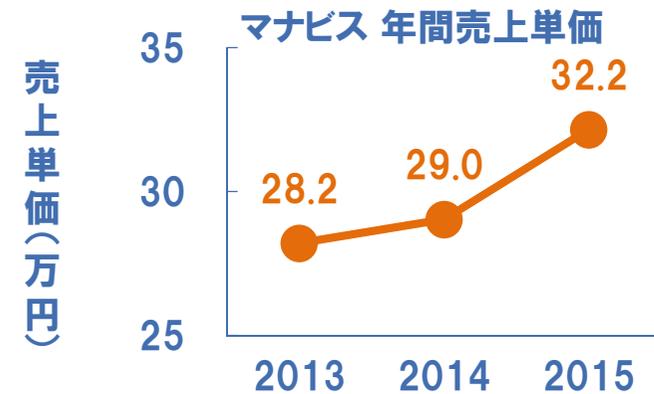


第2四半期 業績の分析 ⑤ 河合塾マナビス

- 「自分のペースで学習を進めたい」というニーズに応える映像授業
- 2月に湘南台校、6月に大泉学園校を開校、全11校舎へ



映像授業をビデオ・オン・デマンド形式で視聴
当校はフランチャイジーとして校舎を展開



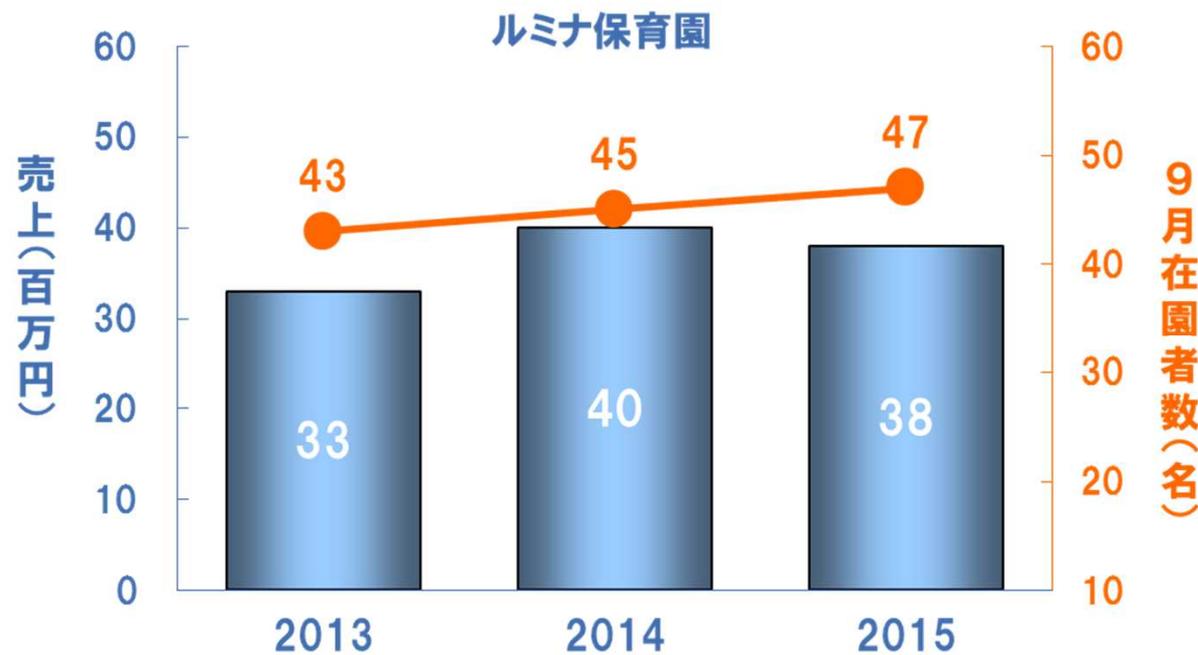
湘南台校、大泉学園校を開校



- 久保田カヨ子夫人が実践した、賢い脳を育てる乳幼児教室
- 3月にお茶の水教室開校、全5教室へ



- 「くぼた式育脳法カリキュラム」を導入した保育園
2011年4月に東京都認証保育所として開設
- 入園者数は安定し、地域の待機児童対策に貢献



くぼた式育脳法を導入



英語レッスン風景

- 2013年10月に、2歳から小学生までを対象とした英語教育事業「ズー・フォニックス・アカデミー」を運営する(株)ジー・イー・エヌを子会社化
- 直営教室・FC教室ともに生徒数拡大、当第2四半期の売上は137百万円に（前年比12.3%増）（内部売上消去後）



- 私立大の合格者の半数がAO入試や推薦入試による合格となっている現状への対応
- 人物本位入試への対応
- 2015年11月時点で、すでに慶応大、上智大、明治大、首都大学東京など難関大学への合格を獲得



第2四半期 業績 部門別売上のまとめ

- ニーズをとらえた個別指導・映像授業が売上を伸ばす
- 子会社ジー・イー・エヌも売上を拡大
- その他に含まれる新規事業も、順調な滑り出し

(百万円)	前期	当期	増減	比(%)
予備校	1,566	1,497	-69	-4.4%
個別指導	1,023	1,114	+91	+8.9%
マナビス	336	453	+117	+34.8%
ジー・イー・エヌ	122	137	+15	+12.3%
児童教育	90	95	+5	+5.6%
AO推薦塾	—	39	+39	—
その他	40	45	+5	+12.5%
<総計>	3,178	3,380	+202	+6.4%

平成28年 3月期 第2四半期 決算報告

今期の見通しと今後の課題

中期経営計画の進捗状況 ① “あるべき姿”

城南進研グループは、少子高齢化社会における競争に勝ち抜くために、

- ① 社会環境の変化（ICT化、グローバル化など）にフレキシブルに対応し、顧客層の拡大を図ります。
- ② サービスの専門性を高め、差別化を推進することで顧客満足度の向上を目指します。

これらを通じて、お客様に選ばれる総合教育サービス企業として、持続的成長を実現します。

結果として、城南進研グループは民間教育を牽引する存在となります。

- ① 社会環境の変化に応じた成長戦略の推進
- ② 事業の再構築とシナジー効果の追求
- ③ 顧客満足度の向上を軸としたブランドの構築

中期経営計画の進捗状況 ③ 業績目標

- 2014年度実績、2015年度予想とも、計画を上回る
- 中期経営計画の目標を「必達目標」としつつ、計画の着実な遂行を推進

(百万円)	2014年度		2015年度		2016年度
	計画	実績	計画	予想	計画
売上高	5,942	6,179	6,317	6,657	6,795
営業利益	221	317	315	354	475
営業利益率	3.7%	5.1%	5.0%	5.3%	7.0%
経常利益	274	384	379	410	543
経常利益率	4.6%	6.2%	6.0%	6.2%	8.0%



■ 電子黒板を活用した授業「@Active Loop」

第1文型

Kumi runs fast.

クミは速く走る。

S + V (+修飾語)

Kumi runs fast.

主語 動詞 (修飾語)

①

P-01

■ポイント

- ① S(主語)になるのは ()
- ② S+Vには が付くことが多い。
- ③ 修飾語は例文のように文末だけでなく、
にも置かれる。

SとVだけでは伝えられる情報が限られてしまう・・・
→修飾語を用いて表現の幅を広げる！

文頭+文末 例1 Yesterday Takeshi went to the park.

S V
「昨日タケシは公園に行った」

⑤

⑦

P-02

文中+文末 例2 She always sleeps at 9:00 p.m.

S V
「彼女はいつも夜9時に寝る」

②

③

P-03



演習の時間よ！

高校1年生用
教材より

新たな試み① @Active Loop

■ 電子黒板を活用した授業「@Active Loop」



- イラスト・動画で理解度向上!
- Time Trial 演習!
- テストシステム完備!

新たな試み② ～学習アプリの開発～



- 当社グループの株式会社イオマガジンと、英単語ロールプレイングゲーム、「わーどばんくの塔」を共同開発、2015年3月に配信開始
- 城南予備校のオリジナル副教材である「WORD BANK 2500」を、楽しく、覚えやすくしたアプリ



順位	ニックネーム	HI-SCORE	到達階
1位	キング	474877	22階
2位	Dream	422547	25階
3位	George Lah	394715	21階
4位	りえマン	343700	25階
5位	もも	333547	9階
6位	ブンバゴ	304780	15階
7位	うめmomo	293700	19階
8位	かつたろー	293700	19階
9位	うめmomo	293700	19階

■ 久ヶ原スポーツクラブの子会社化について



- スイミング、スポーツジムのみならずバレエ教室など、さまざまな分野のレッスンを提供
- 地域に根差して35年、会員数は2700名を超える
- 健康増進事業を含む総合教育機関として、更なる発展を図る



～ グローバル化への対応 ～

■ 年々増加する日本人留学生



出典：

独立行政法人 日本学生支援機構 『協定等に基づく日本人学生留学状況調査』

■ 文科省の掲げる目標（～2020年）

大学生の海外留学12万人

→ スーパーグローバル大学に37校選定

高校生の海外留学6万人（現状3万人）

～ 留学生教育事業への参入 ～

■ 株式会社リンゴ・エル・エル・シー

TOEFL®Test、IELTS対策に特化した留学試験対策専門校

生徒の目的や能力に応じてきめ細くサポートし、《読む・聞く・話す・書く》の4技能をバランスよく育成

■ リンゴ社の子会社化により、今後市場拡大が予想される 留学生教育事業へ参入

■ 大学入試改革への対応を促進

※TOEFL®Test／IELTSとは

海外留学を希望する場合、スコアの提出を求められるテスト
すべての英語運用能力《読む・聞く・話す・書く》を統合的に判定

新規事業の位置づけ ～年齢層のイメージ～



利益還元

■ 平成28年3月期は1株10円の期末配当予定

	中間配当 (円 銭)	期末配当 (円 銭)	配当 計 (円 銭)	配当性向 (%)
H27年3月期	0.00	10.00	10.00	27.4
H28年3月期 (予想)	0.00	10.00	10.00	25.7

IRお問い合わせ先

株式会社 城南進学研究社
取締役管理本部長：杉山 幸広
TEL:044(246)1951
e-mail : info@johnan.co.jp

本資料は、平成28年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は平成27年12月4日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。